

県内企業を知って

田辺工業高で説明会

田辺市あけぼのの田辺工業高で10日、県内17社の企業説明会があった。就職を希望する2年生約120人が参加し、進路についての参考にし

た。

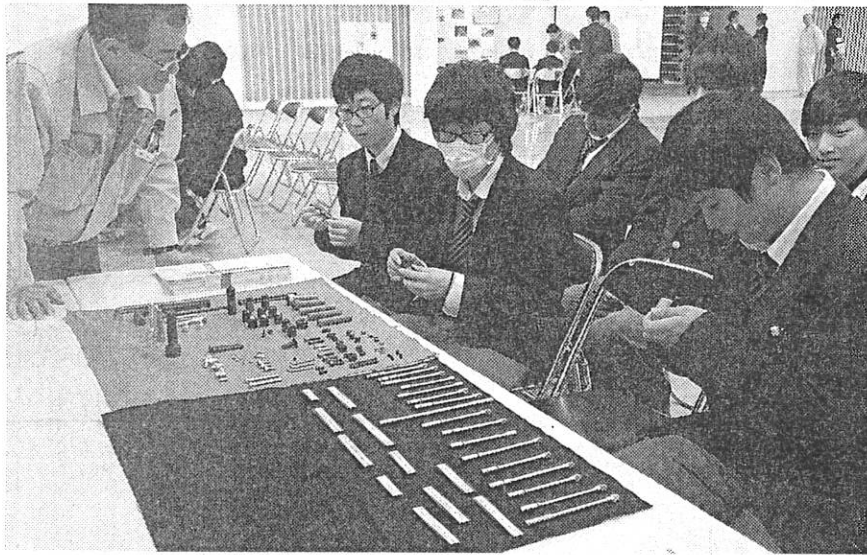
地元の企業と連携し、県の産業を支える人材の育成と確保を目的としている。

説明会では、主に製造業の企業がブースを並べた。各企業の担当者が仕事の内容や会社が求める人材、働いている人の声などを紹介。生徒は担当者の説明を聞き、会社の製品を手にとって見るなどして

理解を深めた。

機械科の松場さくら(17)は「地元でも初めて知った企業が多かった。説明を聞いて、将来のために資格を取っておこうと思った」と話した。

昨年度の県内高校生の県内での就職率は76・4%。紀北に比べ、紀南の高校生は県外への就職率が高いという。県労働政策課は「早いうちから進路を考えるきっかけになれば。まずは地元の企業を知ってもらい、関心を持ってもらいたい」と話している。



担当者の説明を受けながら、企業の製品を手にとって見る生徒
(10日、田辺市あけぼので)